

令和 7 年度

「運営に関する計画」

(案)

大阪市立天満中学校

令和 7 年 4 月

教 育 目 標

「自学・自律・思いやり」
～誰ひとり取り残さない教育活動の推進～

～めざす子ども像～

「自分らしさ」を大切にし、多様性を尊重できる生徒
自ら考え、明日への一歩を踏み出せる生徒

【安全・安心な教育の推進】

- ① 清潔感のある身だしなみと身の回りの整理整頓を通して、前向きになれる環境作りをする。
- ② 基本的生活習慣を身につけさせ、健康的な生活の基盤を形成する。
- ③ 多様性を認め合える関係づくりを推進する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 個別最適な学びと協働的な学びを通じて、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ② キャリア教育の充実や地域の教育力を活用し、人間性を育み、自ら生き方を選択できるようにする。
- ③ 自由進度学習を取り入れ学び方を身につけさせる。

【学びを支える教育環境の充実】

- ② ICT を適切に活用した学習活動を推進する。
- ② 多様な学びの場を設置し、効果的に運営する。
- ③ 持続可能な組織体制を構築する。

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

- 昨年度も学校・家庭・地域が連携し学習環境の整備や教育活動を行うことができ、各教科で主体的・対話的で深い学びをめざした授業作りに取り組むことができた。これらの状況をより良い状態で維持し、学校・家庭・地域はもとより、関係諸機関や各地域の方々とも連携を密にし、生徒の変化に迅速に対応し、問題を解決できるような体制の構築を進め、子どもが「安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現」と「誰一人取り残さない教育活動」の推進を行う。
- 生徒があいさつを自発的に行うことができるようになり、また、規範意識も高まりつつあり、令和 6 年度末の「校内生徒アンケート」において、「あいさつや礼儀、服装を正すなど、学校や社会のルールを守ろうと努力している」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合は 99.3% であった。
- 令和 6 年度末の「校内生徒アンケート」において、「いじめや暴力などのトラブルには、時には先生なども交えながら、問題の解決を図っている」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合は 93.2% である。また、令和 6 年度末の「保護者アンケート」において、「学校は、子どもたちが学校生活や友達関係などで困ったり悩んだりしているとき、相談できる機会や体制を整えている」の項目に、肯定的な回答をした保護者の割合は 82.6% である。生徒、保護者からの否定的回答に対し、いかに対応していくかを課題としている。
- 本校における大きな課題が、不登校生徒の増加であり、対応策として「School” 0 ”」を立ち上げた。さらに支援の方法や内容・人員の配置・予算等を検討し持続して行える取組にする。また、関係諸機関との連携もさらに進める必要がある。
- 令和 6 年度末の「校内生徒アンケート」において、「道徳・人権学習を通じて、命の大切さや自他を尊重し互いを思いやる心が養えていると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合は 96.2% である。
- 大きな自然災害が発生した時の「命の安全」や地域の方との「協働」において視点を置くことで、防災意識をより一層深める必要がある。区役所や消防署、地域の方との連携強化や、校内での防災訓練等により生徒個々の防災意識を高めていく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 全国学力・学習状況調査や大阪府チャレンジテストなど、各調査での平均正答率が大阪市、全国の平均を上回るなど成果があがっている。
- 令和 6 年度末の調査で、中学校卒業段階で英検 3 級程度以上 (GTEC スコア 360 以上) の英語力を有する生徒の割合が 83% であった。
- 令和 6 年度末の「校内生徒アンケート」において、「授業はおおむねわかりやすいと思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合は 92.3% である。これらの数値をこれからも持続し、さらに改善することが、「自ら考え、明日への一歩を踏み出せる生徒」を育むことにあたり、今後取り組むべき課題である。
- 令和 6 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、「あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか」の質問に対し、本校の生徒が 90.7% の肯定的回答を示した。（令和 5 年度末は 67.3%）また、令和 6 年度の体力合計点（本校男女平均）が 48.86 に対し、令和 5 年度は 43.82 と、令和 5 年度を上回る結果となっている。学校行事も活発に行うことで、天満中学校らしい活動を発展させることができた。体力・運動能力向上におおいに影響を与えている。

現状と課題

【学びを支える教育環境の充実】

- 日々の授業においては、生徒が学習者用端末を用い、教員と生徒の双方向通信を利用することで新たな学びの形を構築することができ、また、授業研修週間を3期設け、教員相互が語り合う協働的な研修も行うことができている。生徒が主体的に学ぶために、各自が目標を設定し自ら学び方を決定するなど、各教科の単元の一部に自由進度学習を取り入れていく。
- 学校業務の責任の所在を明確化し業務分担の偏りを是正することで、教職員の長時間勤務の解消につなげる。教職員が子どもたち一人一人に向き合う時間を確保するとともに、教職員のWell-beingの向上をめざす。
- 令和6年度末の「校内生徒アンケート」において、「学校の宿題以外に、予習・復習・問題集に取り組むなどの家庭学習を行っている」と肯定的な回答をした生徒の割合は67.9%で、「朝読書や図書館の利用等で、読書の習慣がついてきていると思う」と答えた生徒の割合は63%である。
- コミュニティースクール事業（学校元気アップ地域本部）が中心となり、テスト前土曜学習会や3年生プラッシュアップ学習会、懇談時の学習会を実施し、子どもたちの自主学習支援を行ってきた。学びサポーターや学習ボランティア等の人材を継続的に確保することが事業を運営する上での今後の課題である。
- 本校の課題である不登校生徒支援については、校務分掌に個別支援教育部を創設し、子どもの居場所づくりとして「SCHOOL"0"」を運営する。教室に入りにくい生徒だけでなく、学校に来にくい生徒へのサポートも「さくらclass」や「中崎クラス」など校外の施設を活用する。学校全体で不登校生徒に関わり、対人スキルの向上や学習支援に取組んでいく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「いじめや暴力などのトラブルには、時には先生なども交えながら、問題の解決を図っている」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を95%以上とする。**(R4:95.4%-R5:94.2%-R6:93.2%)**
- 令和7年度末の「保護者アンケート」において、「生命を大切にする心を育み、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目に、肯定的な回答をした保護者の割合を90%以上とする。**(R4:93.1%-R5:86%-R6:94%)**
- 令和7年度末の「保護者アンケート」において、「学校は、子どもたちが学校生活や友達関係などで困ったり悩んだりしているとき、相談できる機会や体制を整えている」の項目に、肯定的な回答をした保護者の割合を90%以上とする。**(R4:88.9%-R5:81%-R6:82.6%)**
- 令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「あいさつや礼儀、服装を正すなど、学校や社会のルールを守ろうと努力している」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を95%以上とする。**(R4:98.4%-R5:99.4%-R6:99.3%)**
- 令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「道徳・人権学習を通じて、命の大切さや自他を尊重し互いを思いやる心が養えていると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を95%以上とする。**(R4:95.3%-R5:96.4%-R6:96.2%)**

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 全国学力・学習状況調査や大阪府チャレンジテストなど、各学力調査での平均正答率を大阪市、全国の平均を上回る。**(R4年度-R5年度-R6年度達成)**
- 令和7年度末の校内調査における、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、「とても思う」と回答する生徒の割合を70%以上にする。**(R4:49.9%-R5:41.3%-R6:39.5%)**

○令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「学校の宿題以外に、予習・復習・問題集に取り組むなどの家庭学習を行っている」と肯定的な回答をした生徒の割合を70%以上とする。(R4:72.0%・R5:72.3%・R6:67.9%)

○令和7年度末に、中学校卒業段階で英検3級程度以上(GTECスコア360以上)の英語力を有する生徒の割合を70%以上とする。

(GTECの結果 3年生において、英検3級程度以上 R4:83%・R5:86%・R6:85%)

○令和7年度末の校内調査における、「運動(体を動かすこと)やスポーツをすることは好きである」に対して、「とても思う」と回答する生徒の割合を65%以上にする。

(R4:79.3%・R5:53%・R6:50.6%)

○令和7年度末「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、「あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか」の質問に対し、肯定的な回答をした生徒の割合を70%以上とする。(R4:84.0%・R5:67.3%・R6:90.7%)

○令和7年度末「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、体力合計点(男女平均)大阪市平均を上回る結果とする。R6の結果

体力合計点	男子	女子	平均
全国	41.86	47.37	44.62
大阪市	41.10	47.51	44.31
天満中	45.35	52.36	48.86

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「授業や家庭で学習者用端末を使用して、学習や心の天気・いじめアンケート等を行っている」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を80%以上とする。(R4:84.5%・R5:90.1%・R6:83.5%)

○令和7年度末の「保護者アンケート」において、「家庭で学習者用端末を使用して学習している」の項目に、肯定的な回答をした保護者の割合を80%以上とする。

(R4:64.7%・R5:52.1%・R6:50.6%)

○令和7年度末の「教職員アンケート」において、「教材・教具を精選し、学習者用端末やデジタル教材を利用して、生徒の基礎学力の定着に努めている」の項目に、肯定的な回答をした保護者の割合を80%以上とする。(R4:96.5%・R5:92.9%・R6:100%)

○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を50%以上にする。

(R5:89.7%・R6.12月まで:76.9%)

○教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合が、大阪市平均を上回るようにする。

(R5 基準2を満たす教職員:58.7%で大阪市のR2年度平均70.5%を下回っている)

(R6.2月まで:64.58%)

○令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「朝読書や図書館の利用等で、読書の習慣がついてきていると思う」と答えた生徒の割合を70%以上とする。

(R4:66.9%・R5:68%・R6:63%)

○令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「放課後・土曜学習会などを通じて、自分から学習する姿勢が持ってきた」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を80%以上とする。(R4:85.9%・R5:87.3%・R6:81%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

「大阪市教育振興計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

- 年度末の校内調査における、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、肯定的な生徒の割合を95%以上にする。
(R4:97.1%・R5:98.1%・R6:96.7%)
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
(R4:10.6%・R5:11.51%・R6:14%)
- 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
(R4:17.4%・R5:29%・R6:63%)
- 令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「いじめや暴力などのトラブルには、時には先生なども交えながら、問題の解決を図っている」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を95%以上とする。**(R4:95.4%・R5:94.2%・R6:93.2%)**
- 令和7年度末の「保護者アンケート」において、「生命を大切にする心を育み、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目に、肯定的な回答をした保護者の割合を90%以上とする。**(R4:93.1%・R5:86%・R6:94%)**
- 令和7年度末の「保護者アンケート」において、「学校は、子どもたちが学校生活や友達関係などで困ったり悩んだりしているとき、相談できる機会や体制を整えている」の項目に、肯定的な回答をした保護者の割合を90%以上とする。**(R4:88.9%・R5:81%・R6:82.6%)**
- 令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「あいさつや礼儀、服装を正すなど、学校や社会のルールを守ろうと努力している」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を95%以上とする。**(R4:98.4%・R5:99.4%・R6:99.3%)**
- 令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「道徳・人権学習を通じて、命の大切さや自他を尊重し互いを思いやる心が養えていると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を95%以上とする。**(R4:95.3%・R5:96.4%・R6:96.2%)**
- 令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「日々の避難訓練や震災学習等により、地震や火事が起こったとき、適切な行動がとれると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を90%以上とする。**(R4:93.1%・R5:91.7%・R6:91.8%)**

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

「大阪市教育振興計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

- 年度末の校内調査における、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、「とても思う」と回答する生徒の割合を70%以上にする。**(R4:49.9%・R5:41.3%・R6:39.5%)**
- 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上(GTECスコア440以上)の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を60%以上にする。
(GTECの結果3年生において、CEFR A1レベル相当以上 R4:71.1%・R5:75.8%・R6:64.15%)
- 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント以上向上させる。
(30期生の結果：国語→前年度比-0.7ポイント、数学→前年度比-4.9ポイント)
- 年度末の校内調査における、「運動（体を動かすこと）やスポーツをすることは好きである」に対して、「とても思う」と回答する生徒の割合を60%以上にする。
(R4:44.9%・R5:53%・R6:50.6%)
- 全国学力・学習状況調査や大阪府チャレンジテストなど、各学力調査での平均正答率を大阪市、全国の平均を上回る。**(R4・R5・R6 年度達成)**
- 令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「学校の宿題以外に、予習・復習・問題集に取り組むなどの家庭学習を行っている」と肯定的な回答をした生徒の割合を70%以上とする。**(R4:72.0%・R5:72.3%・R6:67.9%)**

○令和7年度末に、中学校卒業段階で英検3級程度以上（GTECスコア360以上）の英語力を有する生徒の割合を70%以上とする。

(GTECの結果 3年生において、英検3級程度以上 R4:83%・R5:86%・R6:85%)

○令和7年度末「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、「あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか」の質問に対し、肯定的な回答をした生徒の割合を70%以上とする。**(R4:84.0%・R5:67.3%・R6:90.7%)**

○令和7年度末「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、体力合計点（男女平均）大阪市平均を上回る結果とする。

R6の結果

体力合計点	男子	女子	平均
全国	41.86	47.37	44.62
大阪市	41.10	47.51	44.31
天満中	45.35	52.36	48.86

【学びを支える教育環境の充実】

「大阪市教育振興計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

○授業日において、生徒の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の80%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く）

(R6:0%)

○年度末の校内調査における、「授業や家庭で学習者用端末を使用して、学習や心の天気・いじめアンケート等を行っている」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を80%以上とする。**(R4:84.5%・R5:90.1%・R6:83.5%)**

○年度末の校内調査における、「家庭で学習者用端末を使用して学習している」の項目に、肯定的な回答をした保護者の割合を80%以上とする。**(R4:64.7%・R5:52.1%・R6:50.6%)**

○年度末の校内調査における、「教材・教具を精選し、学習者用端末やデジタル教材を利用して、生徒の基礎学力の定着に努めている」の項目に、肯定的な回答をした教員の割合を80%以上とする。**(R4:96.5%・R5:92.9%・R6:100%)**

○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を50%以上にする。

(R5:89.7%・R6.2月まで:79.5%)

○教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合が、大阪市平均を上回るようにする。**(R5 基準2を満たす教職員:58.7%で大阪市のR2年度平均70.5%を下回っている)**

(R6.2月まで:64.58%)

○令和7年度末の「教職員アンケート」において、「ICTや図書室・学校外の人材等を活用して学年行事を計画し実施することができる」の項目に、肯定的な回答をした教員の割合を80%以上とする。**(R4:93.1%・R5:89.3%・R6:100%)**

○令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「朝読書や図書館の利用等で、読書の習慣がついてきていると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を70%以上とする。**(R4:66.9%・R5:68%・R6:63%)**

○令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「放課後・土曜学習会などを通じて、自分から学習する姿勢が持ってきた」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を80%以上とする。**(R4:85.9%・R5:87.3%・R6:81%)**

【その他】

○令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「キャリア学習や職業講話・卒業生の講話・職業体験・進路学習などを通じて、将来のことについて考えるきっかけになった」の項目で、肯定的な回答をした生徒の割合を80%以上とする。

(R4:86.3%・R5:85.4%・R6:89.7%)

- 令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「保健だよりや健康診断の結果などで、健康生活への関心を高めようとしている」の項目で、肯定的な回答をした生徒の割合を80%以上とする。**(R4:84.8%・R5:84.7%・R6:82.6%)**
- 令和7年度末の「保護者アンケート」において、「教育目標や方針、具体的な方策について、校長室だより、学年だより、ホームページなど、様々な機会を捉えてわかりやすく伝えていく」の項目で、肯定的な回答をした保護者の割合を85%以上とする。**(R4:92.6%・R5:84.5%・R6:91.8%)**

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立天満中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>「大阪市教育振興計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」</p> <p>○年度末の校内調査における、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、肯定的な生徒の割合を <u>95%以上</u> にする。 (R4 : 97.1% • R5 : 98.1% • R6 : 96.7%)</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。 (R4 : 10.6% • R5 : 11.51% • R6 : 14%)</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。 (R4 : 17.4% • R5 : 29% • R6 : 63%)</p> <p>○令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「いじめや暴力などのトラブルには、時には先生なども交えながら、問題の解決を図っている」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を 95%以上とする。(R4 : 95.4% • R5 : 94.2% • R6 : 93.2%)</p> <p>○令和7年度末の「保護者アンケート」において、「生命を大切にする心を育み、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目に、肯定的な回答をした保護者の割合を 90%以上とする。(R4 : 93.1% • R5 : 86% • R6 : 94%)</p> <p>○令和7年度末の「保護者アンケート」において、「学校は、子どもたちが学校生活や友達関係などで困ったり悩んだりしているとき、相談できる機会や体制を整えている」の項目に、肯定的な回答をした保護者の割合を <u>90%以上</u> とする。 (R4 : 88.9% • R5 : 81% • R6 : 82.6%)</p> <p>○令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「あいさつや礼儀、服装を正すなど、学校や社会のルールを守ろうと努力している」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を 95%以上とする。(R4 : 98.4% • R5 : 99.4% • R6 : 99.3%)</p> <p>○令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「道徳・人権学習を通じて、命の大切さや自他を尊重し互いを思いやる心が養えていると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を 95%以上とする。(R4 : 95.3% • R5 : 96.4% • R6 : 96.2%)</p> <p>○令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「日々の避難訓練や震災学習等により、地震や火事が起ったとき、適切な行動がとれると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を 90%以上とする。(R4 : 93.1% • R5 : 91.7% • R6 : 91.8%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1-1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「いじめ対策マニュアル」に基づき、「1週間を振り返って」を実施する。また、生徒用学習者用端末の「相談機能」・「心の天気」を利用し生徒の状況把握を行うとともに、教員のいじめに関する研修を行い、いじめの未然防止と早期解決に努める。</p> <p>指標 「校内生徒アンケート」における「いじめや暴力などのトラブルには、時には先生なども交えながら、問題の解決を図っている」の項目を指標とする。 (R6 : 93.2%)</p>	

<p>取組内容②【基本的な方向 1－2 安全・安心な教育環境の実現】 個別支援教育部を中心に不登校生徒の状況を把握分析し、S C、S S Wや関係諸機関との連携を行い、学校全体で課題解決に取り組む。</p>	
<p>指標 年度末の校内調査において、年間 90 日以上欠席する生徒の割合を前年度より減少させる。(R5:7%・R6:6%)</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 1－3 安全・安心な教育環境の実現】 生徒主体でありさつ運動や風紀チェックを行い、学校の規則を守ることについて、学年や学級目標を設定し、生徒が主体的に動けるよう全教職員で指導にあたる。</p>	
<p>指標 「校内生徒アンケート」における「あいさつや礼儀、服装を正すなど、学校や社会のルールを守ろうと努力している」の項目を指標とする。(R6 : 99.3%)</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 2－1 豊かな心の育成】 道徳の授業数を確保し、全教員による授業実践を行い、生徒の道徳性と社会性の育成を図る。</p>	
<p>指標 「校内生徒アンケート」における「道徳・人権学習を通じて、命の大切さや自他を尊重し互いを思いやる心が養えていると思う」の項目を指標とする。(R6 : 96.2%)</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向 1－5 安全・安心な教育環境の実現】 「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に基づき、災害に備えた訓練を計画的に実施する。</p>	
<p>指標 「校内生徒アンケート」における「日々の避難訓練や震災学習等により、地震や火事が起ったとき、適切な行動がとれると思う」の項目を指標とする。(R6 : 91.8%)</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の結果と分析</p>	
<p>後期への改善点</p>	

大阪市立天満中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況																
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>「大阪市教育振興計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」</p> <p>○年度末の校内調査における、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、「<u>とても思う</u>」と回答する生徒の割合を<u>70%以上</u>にする。(R4:49.9%・R5:41.3%・R6:39.5%)</p> <p>○大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上(GTECスコア440以上)の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を60%以上にする。</p> <p>(GTECの結果3年生において、CEFR A1レベル相当以上 R4:71.1%・R5:75.8%・R6:64.15%)</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける国語と数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント以上向上させる。</p> <p>(30期生の結果：国語→前年度比-0.7ポイント、数学→前年度比-4.9ポイント)</p> <p>○年度末の校内調査における、「運動（体を動かすこと）やスポーツをすることは好きである」に対して、「<u>とても思う</u>」と回答する生徒の割合を<u>60%以上</u>にする。 (R4:44.9%・R5:53%・R6:50.6%)</p> <p>○全国学力・学習状況調査や大阪府チャレンジテストなど、各学力調査での平均正答率を大阪市、全国の平均を上回る。(R4・R5・R6 年度達成)</p> <p>○令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「学校の宿題以外に、予習・復習・問題集に取り組むなどの家庭学習を行っている」と肯定的な回答をした生徒の割合を70%以上とする。(R4:72.0%・R5:72.3%・R6:67.9%)</p> <p>○令和7年度末に、中学校卒業段階で英検3級程度以上(GTECスコア360以上)の英語力を有する生徒の割合を<u>70%以上</u>とする。</p> <p>(GTECの結果3年生において、英検3級程度以上 R4:83%・R5:86%・R6:85%)</p> <p>○令和7年度末「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、「あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか」の質問に対し、肯定的な回答をした生徒の割合を70%以上とする。(R4:84.0%・R5:67.3%・R6:90.7%)</p> <p>○令和7年度末「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、体力合計点（男女平均）大阪市平均を上回る結果とする。</p> <p>R6の結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>体力合計点</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>41.86</td> <td>47.37</td> <td>44.62</td> </tr> <tr> <td>大阪市</td> <td>41.10</td> <td>47.51</td> <td>44.31</td> </tr> <tr> <td>天満中</td> <td>45.35</td> <td>52.36</td> <td>48.86</td> </tr> </tbody> </table>	体力合計点	男子	女子	平均	全国	41.86	47.37	44.62	大阪市	41.10	47.51	44.31	天満中	45.35	52.36	48.86	
体力合計点	男子	女子	平均														
全国	41.86	47.37	44.62														
大阪市	41.10	47.51	44.31														
天満中	45.35	52.36	48.86														

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向4-1 言語活動・理数教育の充実】</p> <p>数学的・理科的な見方・考え方を働かせ事象を論理的に考察し、科学的に探究する力を養う。総合的読解力の育成のため計画的・系統的に取り組む。</p> <p>指標 全国学力・学習状況調査や大阪府チャレンジテストの平均正答率を指標とする。</p>	

取組内容②【基本的な方向 4－2 「主体的・対話的で深い学び」の推進】

生徒が主体的に学ぶために、各自が目標を設定し自ら学び方を決定するなど、各教科の単元の一部に自由進度学習を取り入れていく。

指標 年度末の校内生徒アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的な回答をした生徒の割合を指標とする。(R6 : 90.3%)

取組内容③【基本的な方向 4－3 英語教育の強化】

生徒の豊かな語学力・コミュニケーション能力等を育成するために、英語教育の充実を図る。

指標 大阪市英語力調査 (GTEC) の結果を指標とする。

取組内容④【基本的な方向 5－1 体力・運動能力向上のための取組の推進】

体育的な学校行事や学年行事を計画的に行い、生徒を中心に活発に活動ができるようになる。

指標 今年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点を指標とする。

年度目標の達成状況や取組の結果と分析

後期への改善点

大阪市立天満中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>「大阪市教育振興計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業日において、生徒の 8 割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の 80% 以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く） (R6:0%) ○年度末の校内調査における、「授業や家庭で学習者用端末を使用して、学習や心の天気・いじめアンケート等を行っている」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を <u>80%以上</u> とする。(R4:84.5%-R5:90.1%-R6:83.5%) ○年度末の校内調査における、「家庭で学習者用端末を使用して学習している」の項目に、肯定的な回答をした保護者の割合を 80%以上とする。 (R4:64.7%-R5:52.1%-R6:50.6%) ○年度末の校内調査における、「教材・教具を精選し、学習者用端末やデジタル教材を利用して、生徒の基礎学力の定着に努めている」の項目に、肯定的な回答をした教員の割合を <u>80%以上</u> とする。(R4:96.5%-R5:92.9%-R6:100%) ○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80%以上にする。 (R5:89.7%-R6.2 月まで:79.5%) ○教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合が、大阪市平均を上回るようにする。 (R5 基準2を満たす教職員:58.7%で大阪市の R2 年度平均 70.5%を下回っている) (R6.2 月まで:64.58%) ○令和 7 年度末の「教職員アンケート」において、「ICT や図書室・学校外の人材等を活用して学年行事を計画し実施することができる」の項目に、肯定的な回答をした教員の割合を <u>80%以上</u> とする。(R4:93.1%-R5:89.3%-R6:100%) ○令和 7 年度末の「校内生徒アンケート」において、「朝読書や図書館の利用等で、読書の習慣がついてきていると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を 70% 以上とする。(R4:66.9%-R5:68%-R6:63%) ○令和 7 年度末の「校内生徒アンケート」において、「放課後・土曜学習会などを通じて、自分から学習する姿勢が持ってきた」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を 80%以上とする。(R4:85.9%-R5:87.3%-R6:81%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6-1 ICT を活用した教育の推進】</p> <p>校内のネット環境や ICT 環境を整備し、デジタルドリルや協働学習支援ツール等を効果的に活用し、個別最適な学びを推進する。</p> <p>指標 「校内生徒アンケート」における、「授業や家庭で学習者用端末を使用して、学習や心の天気・いじめアンケート等を行っている」の項目を指標とする。(R6 : 83.5%)</p>	

<p>取組内容②【基本的な方向 6－1 ICTを活用した教育の推進】</p> <p>ICT活用による授業の工夫に取り組み、特に、一人一台学習者用端末を活用した授業づくりに取り組む。</p>	
<p>指標 「校内生徒アンケート」における、「授業はおおむねわかりやすいと思う」の項目を指標とする。(R6 : 92.3%)</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 7－1 働き方改革の推進】</p> <p>教職員一人一人の負担軽減に取り組み、長時間勤務の解消を図る。</p>	
<p>指標 教職員の年次有給休暇取得日数と、教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を指標とする。(R6.2月現在 基準2を満たす教職員 : 64.58%)</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 8－3 学校図書館の活性化】</p> <p>朝の読書活動や図書館開放を通じて、本に親しみを持ちながら読書習慣をつけるとともにおちついて授業に臨む態度を育てる。</p>	
<p>「校内生徒アンケート」における、「朝読書や図書館の利用等で、読書の習慣がついてきていると思う」の項目を指標とする。(R6 : 63%)</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向 9－2 地域学校協働活動の推進】</p> <p>定期テスト前に、自主学習会を開催し、学習支援ボランティア、地域コーディネーター等の指導のもと基礎学力の定着を図る。</p>	
<p>指標 「校内生徒アンケート」における、「土曜学習会を通じて、自ら学習する姿勢が持てるようになってきた」の項目を指標とする。(R6 : 81%)</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の結果と分析</p>	
<p>後期への改善点</p>	

大阪市立天満中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【その他】</p> <p>○令和 7 年度末の「校内生徒アンケート」において、「キャリア学習や職業講話・卒業生の講話・職業体験・進路学習などを通じて、将来のことについて考えるきっかけになった」の項目で、肯定的な回答をした生徒の割合を 80%以上とする。 (R4:86.3%・R5:85.4%・R6:89.7%)</p> <p>○令和 7 年度末の「校内生徒アンケート」において、「保健だよりや健康診断の結果などで、健康生活への関心を高めようとしている」の項目で、肯定的な回答をした生徒の割合を 80%以上とする。(R4:84.8%・R5:84.7%・R6:82.6%)</p> <p>○令和 7 年度末の「保護者アンケート」において、「教育目標や方針、具体的な方策について、校長室だより、学年だより、ホームページなど、様々な機会を捉えてわかりやすく伝えている」の項目で、肯定的な回答をした保護者の割合を 85%以上とする。 (R4:92.6%・R5:84.5%・R6:91.8%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向 2-2 キャリア教育の充実】</p> <p>「職業講話」「職場体験」「高校授業体験」「卒業生の講話」など、望ましい職業観・勤労観を身につけさせるとともに、地域の方々との交流を行い、生徒の社会性を深める。</p> <p>指標 「校内生徒アンケート」における、「キャリア学習や職業講話・卒業生の講話・職業体験・進路学習などを通じて、将来のことについて考えるきっかけになった」の項目を指標とする。(R6 : 89.7%)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 9-1 教育コミュニティづくりの推進】</p> <p>地域との協力関係によるコミュニティースクール事業等の学校支援体制を構築する。</p> <p>指標 地域アンケートにおける、「学校は、地域の方々に対して、積極的に信頼関係・人間関係づくりに努めている」の項目を指標とする。(R6 : 100%)</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 9-1 教育コミュニティづくりの推進】</p> <p>「校長室だより」「学年だより」「保健だより」「ホームページ」などを定期的に発行し、保護者・地域に向け情報発信を行う。</p> <p>指標 「保護者アンケート」における、「教育目標や方針、具体的な方策について、学校説明会や学校通信「校長室だより」「学年だより」「保健だより」「ホームページ」など、様々な機会を捉えてわかりやすく伝えている」の項目を指標とする。(R6 : 91.8%)</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 5-2 健康教育・食育の推進】</p> <p>健康・安全・食育について積極的に啓発を行う。</p> <p>指標 「校内生徒アンケート」において、「保健だよりや健康診断の結果などで、健康生活への関心を高めようとしている」の項目を指標とする。(R6 : 82.6%)</p>	

年度目標の達成状況や取組の結果と分析
後期への改善点